



(新和商)

報 会 同 窓 和 商 法 人



(旧和商)

(発行所) 和歌山市砂山南3丁目3-94

県立和歌山商業高校内 TEL436-6456

社団法人和商同窓会

(第29号) 平成12年3月1日 (水曜日)

よりアクティブな教育活動を

学校長 数見之男



痛感しているところがございます。

昨年四月、長い歴史と伝統に輝く県立和歌山商業高等学校の校長を拝命しました。昭和五十一年から五十九年までの八年間和商の商業科の教員として勤務させて頂いて以来、十五年ぶりであったかしい和商に着任できたことは、この上ない喜びであります。同時に、このすばらしい学校の運営を任された責任の重大さを

感じているところがございます。百年といえれば一世紀であり、誠に大きな節目であります。この百年の間に、第二次世界大戦を初め、幾多の激しい激動に耐えながら、先輩諸氏が管々と築いてこられた歴史と伝統は何物にも増して重く尊いものであります。百周年を機に歴史を辿り、数々の貴重な出来事を再認識し記録に留めると共に、今日までの発展を盛大に祝い、併せて本校の今後の弥栄を祈りたく思っています。

そのため、昨年十一月百周年事業の組織づくりを行い、第一回準備委員会を開催し、動きはじめたところであります。同窓会の皆様方からも、どうかこの事業に向けて、様々な形でのご支援、ご協力をお願いする次第でございます。

さて、昨年の三月に文部省から新しい学習指導要領が告示され、高校教育も新しい転換期を迎えています。その中でも、個性の伸長と生きる力の育成が強調されています。新しい二十一世紀を構築し、めまぐるしく変化する時代を逞しく生き抜くには、旧来のように

学校の教室で、先生から教えてもらうという形態の学習のみに頼るだけでは、いさか消極的であると言わざるを得ません。もっとアクティブに、自ら考え、自ら行動に移せるような学習が必要となっております。そのためには、学校だけでは得られない体験を実社会ですること必要になって来ます。本校では、平成十年度、十一年度の二年間、文部省から地域との連携推進事業の指定を受け、本十一年度には、地域の多くの事業所が告示され、高校教育も新しい転換期を迎えています。その中でも、個性の伸長と生きる力の育成が強調されています。新しい二十一世紀を構築し、めまぐるしく変化する時代を逞しく生き抜くには、旧来のように

学校の教室で、先生から教えてもらうという形態の学習のみに頼るだけでは、いさか消極的であると言わざるを得ません。もっとアクティブに、自ら考え、自ら行動に移せるような学習が必要となっております。そのためには、学校だけでは得られない体験を実社会ですること必要になって来ます。本校では、平成十年度、十一年度の二年間、文部省から地域との連携推進事業の指定を受け、本十一年度には、地域の多くの事業所が告示され、高校教育も新しい転換期を迎えています。その中でも、個性の伸長と生きる力の育成が強調されています。新しい二十一世紀を構築し、めまぐるしく変化する時代を逞しく生き抜くには、旧来のように

を期待して、就労の先送りをする場合があること、また、個性を生かすという前提の下に、専修学校・各種学校を希望する者が増えつつあること、更に、生徒数の減少に伴う短大・四大の入学の壁が低くなり、進学戦線が緩和されつつあることなどが挙げられるでしょう。

陸上部及び相撲部が平成十一年度の和歌山県の強化指定を受けており、県の助成金を得て更なるレベルアップに取り組んでいます。特に陸上部は、例年京都で行われる女子駅伝全国大会へ参加し、今回で十一年連続全国大会出場という活躍をしています。更に、二年生の前田あゆみさんが、平成十一年度の熊本国体の四百メートル走で、現陸上部顧問の高橋泰代教諭が残した

記録を約三十年ぶりに更新するという快挙をなしました。この陸上・相撲部以外では、卓球部・放送部・珠算部・写真部・ワープロ部簿記部・E.S.S部等が今年度の全国大会に出場し、それぞれ健闘しています。

ところで、話は変わりますが、平成十六年度には、本校が設立されて百周年を迎えることとなります。百周年といふと、一世紀の長い歴史を歩んできたわけですが、その間およそ三万名に達しようかという卒業生を送り出していることとなります。つまり、ローカル色豊かなある市の人口とほぼ同じ数であり、その市の住民全員が和商の卒業生といふこととなります。何やら空想ろしい感じすらするものです。

和商教職員の

駐車場完成す



和商同窓会永年の懸案であった同窓会所有地復帰の

件が学校の英断と同窓会の念願が時代の要望に相まって二十年の年月けと共に一挙に解決いたしました。これによってテニスコート跡に教職員用駐車場が完成し、八m幅の通路が校舎に向かって延び、その東側に新しいハンドボールコート二面、テニスコート五面が整然と並んで周囲の面目が一新いたしました。

昭和四〇年以来、実に三〇有余年にわたり迂余曲折を経て、今日に至ったことは同窓会歴代理事長並びに役員諸氏の忍耐と努力の賜

に他なりません。加えて平成一〇年当初から小川理事長の県教委との交渉、中尾前校長と度々重なる会合、大越事務長の煩雑な事務手続き等並々ならぬ苦労が続きました。思えば長い道のりでございます。

この件の概略については平成一一年度同窓会総会で理事長が説明されました。ご存知のことと思っております。尚、移転に伴う長期間を荒れたテニスコートで黙々と練習にはげられた大先生はじめ部員の皆様方に深謝いたしますと共に今後の活躍を期待いたしております。

平成十一年四月から本校で勤務することになりました。これまでの七校の内、大規模校は五校ですが、商業科専門の高等学校は、初めてになります。

所愛われは品変わると思しますが、学校も例外でなく、それぞれ独自の組織運営方法がみられます。ちょうど、各家庭での生活がそれぞれ異なるように、これこそ千差万別であるように感じます。

これは、また光の見えない長引く構造不況の下、厳しい就職戦線であること、何年か先の就職状況の好転も多々見られますが、近畿大会あるいは全国大会へ出場し、より広角的な視点からの切磋琢磨に努めている部もあります。

また、学校行事として開催するものではあります。百周年の歴史と伝統の重みを改めて認識し、その歩みを祝うと同時に、時代と社会のニーズに合わせるべくこれらの学校づくりの礎とする

はばたく和商をめぐって

教 頭 田 辺 芳 昭



と伝統を有する本校の良さを生かしつつ、見直しが必要なものは、即改善していくことに取り組んでいきたいと考えています。

さて、本紙をお借りしまして、本校の現状のいくつかと今後の取り組みを御紹介したいと思います。最近の進路関係では、以前と異なり、就職者と進学者の比率は四対六と、進学する者が多くなっています。

目立たないものの、地道に努力を重ねているクラブも多々見られますが、近畿大会あるいは全国大会へ出場し、より広角的な視点からの切磋琢磨に努めている部もあります。

また、学校行事として開催するものではあります。百周年の歴史と伝統の重みを改めて認識し、その歩みを祝うと同時に、時代と社会のニーズに合わせるべくこれらの学校づくりの礎とする

また、学校行事として開催するものではあります。百周年の歴史と伝統の重みを改めて認識し、その歩みを祝うと同時に、時代と社会のニーズに合わせるべくこれらの学校づくりの礎とする

新49期生

評議員決まる

- 一組 酒井謙・平原大輔
- 二組 大津充史・清水香
- 三組 柿本典子・菊地寛
- 四組 宮戸伸尚・坂本育

恵、五組 辻敦子・豊田尚子、六組 黒岩晃人・有本弥生、七組 岡田真・二上朋子、八組 岡本華子・武野加奈、九組 西香保里・堀尾理佳

(◎印は代表評議員)

